

リスクアセスメント報告書 (事例1-2)

対象作業名 : スイングヤード集材作業 実施者氏名 : ○○さん、△△さん、□□さん、◎◎さん 報告書作成日 : 平成○○年○○月○○日

No.	危険要因の洗い出し					リスク見積り (現状)		リスク評価 (現状)	リ ス ク 低 減 対 策	対策後のリスク 見積り(予測)		対策後の リスク評価 (予測)	改 善 に 当 た り 考 慮 す べ き 事 項	優先 順位
	作業名	危険要因の 内容	災害に至るプロセス			可能性	重大性	リスク レベル		可能性	重大性	リスク レベル		
			～するとき	～したので	～(事故の型)になる									
		石、集材木	のり面が高いとき	材や石の転落が見え なくて	ベースマシンに当たる	△	△	3	①ベースマシンを安全な箇所に移動させる	○	○	1		2
									②滑車をとって材が法の低いところに来るようにする	△	△	3		1
3	材の引き寄せ	ワイヤーロープ	材を引き寄せるとき	引っかかった材をアームを上げて無理に引き寄せたので	ワイヤーロープが切れてキャビンに激突する	○	×	3	①アームを上げて無理に引かない	○	○	1		3
			リスク低減対策は、検討の順序に従って考える ①危険作業を廃止。作業のやり方・機械・道具等を変更 ②安全装置、保護具等の対策 ③教育等による人材対策						②ワイヤーロープの点検を徹底する	○	△	2	1 傷んでいるところはつなぎ直す 2 交換基準に従って交換する	2
									③過大張力を逃がす仕組みをシステムの中に組み入れる	○	○	1	索を張る前に研修をする	1
4	荷かけ	ワイヤーロープ	荷掛けしようとしたとき	ワイヤーロープが上下に大きく揺れて	激突する	△	△	3	①両手フリーの無線機を導入する	○	○	1		1
									②合図を確実にする	○	△	2	具体的な方法を決めておく	3
									③ワイヤロープが確実に停止してからワイヤロープに近づく	○	○	1		2
									④運転者は合図がないうちは動かさない	○	○	1		4
5	材の引き寄せ	アームの横のピン	アームを横に動かしたとき	アームの横のピンの留め金が折れて	アームが右側で作業している者の上に倒れ掛かる	○	×	3	①アームのピンにグリスを十分に注入しておく	△	△	3		2
									②機械の点検をきちんと行っておく	○	△	2		1
									③アームを無理に横に動かさない	△	△	3		3
6	グラップルで掴んで動かす	集材木	材を掴んで動かすとき	人が危険範囲にいたので	人に激突する	△	×	4	①近づくとき合図しても分からない場合はオペレーターに枝などを投げる	○	○	1		2
									②相互に無線を持ち、確認をして近づく	○	○	1		1
		グラップル	材を掴んで動かすとき	腕を伸ばしたまま持ち上げたので	ベースマシンが前に傾き転落する	△	×	4	①ブーム・アームを縮めて持ち上げる	○	△	2		1
									②ブレードを接地する	△	△	3		2
7	スイングヤードによるかかり木の引き寄せ	かかり木	かかり木を引き寄せるとき	元口が動かなかったので	かかり木の上部が機体方向に倒れ激突する	△	×	4	①かかり木が機体の方向に倒れそうになったら直ぐゆるめる	○	○	1		2
									②滑車をとって横に引く	○	△	2		1
			たまたま、この現場で発生していたかかり木をスイングヤードで処理した時に起こったヒヤリハットから出された。											

リスクの評価基準

災害の可能性

可能性ランク	記号
かなり起こる	×
たまに起こる	△
ほとんど起こらない	○

災害の重大性

重大性ランク	記号
極めて重大	×
重大	△
軽微	○

リスクレベル

リスクの見積り	リスクレベル
××	5
×△、△×	4
○×、×○、△△	3
○△、△○	2
○○	1

リスクへの対応

リスクレベル	リスクへの対応
5	受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある
4	受け入れ不可能なリスクであり、抜本的な対策を実施する必要がある
3	受け入れ不可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある
2	許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)
1	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)